

アルコール検知器 技術規格 <欧州、台湾、中国、日本(自動車局)、J-BAC JB10001 項目数比較>

参考 欧州	参考 欧州	参考 台湾(ENベース)	参考 中国(ENベース)	2019年4月~	20XX年X月~ 202X年~	20XX年X月~
EN15964	EN16280	CNS15988	GB/T 21254-2007	J-BAC第三者検定 (JB10001)	J-BAC第三者検定(JB20)	ISO TC272 (JB+EN+R126+DOT+??)
まえがき	まえがき	まえがき	前書き			
はじめに	はじめに	はじめに				
1 適用範囲	1 適用範囲	1 適用範囲	1 範囲	貨物・旅客自動車 点呼等で使う	一般人・法人・運輸業・労働安全衛生	
2 引用規格	2 引用規格	2 引用規格	2 規範性引用文献			
3 用語及び定義	3 用語及び定義	3 用語及び定義	3 用語と定義	血中ではなく呼気とする	3. 用語および定義	3 用語および定義
4 型式試験	4 型式試験	4 型式試験	5. 試験方法			4 呼気アルコール検知器の技術規格適合性試験について
5 安全性	5 安全性	5 安全性				5 呼気アルコール検知器の安全性
5.1 一般的注釈	5.1 一般的注釈	5.1 一般的注釈	4.1 外観要件			5.1 一般的解釈
5.2 衛生	5.2 衛生	5.2 衛生				5.2 衛生
5.3 電気的安全性	5.3 電気的安全性	5.3 電気的安全性	4.2 機能要件			5.3 電気的安全性
6 一般仕様	6 一般仕様	6 一般仕様	4 要件			6. 呼気アルコール検知器の要求項目
6.1 一般要件	6.1 一般要件	6.1 一般要件				6.1 測定準備OK
6.2 最大許容誤差(MPE)	6.2 最大許容誤差(MPE)	6.2 最大許容誤差(MPE)	4.6 許容誤差		4.3 最大許容誤差(MPE)	6.2 最大許容誤差
6.3 測定範囲	6.3 測定範囲	6.3 測定範囲	4.11 測定範囲		4.1 測定範囲	6.3 測定範囲
6.4 動作環境条件	6.4 動作環境条件	6.4 動作環境条件	4.18.1 高温作動 4.18.3 低温作動		4.4 定格製品仕様	6.4 動作環境条件
6.4.1 温度						6.4.1 温度
6.4.2 湿度			4.19 耐湿性			6.4.2 湿度
6.5 使いやすさ	6.5 使いやすさ	6.5 使いやすさ				
6.6 呼気試料採取方法	6.6 呼気試料採取方法	6.6 呼気試料採取方法	4.14 呼気流連続性と最小呼気量 4.15 呼気圧力と流速			6.5 呼気採取方法
6.7 結果の表示	6.7 結果の表示	6.7 結果の表示	4.13 表示	警告音or警告表示or数値	4.5 測定結果の表示	6.6 結果の表示
6.7.1 測定単位			4.1.1			6.6.1 測定単位
6.7.2 丸め方					4.2 目量	6.6.2 数値の丸め方
6.7.3 表示器			4.13.1 文字の高さ			6.6.3 表示
6.8 調整	6.8 調整	6.8 調整				
6.9 起動時間	6.10 校正期間	6.9 校正期間				
	6.11 試料を受け入れる時間	6.10 起動時間	4.4 ウォームアップ時間			6.7 起動時間
	6.12 測定頻度	6.11 試料を受け入れる時間				
6.10 測定頻度	6.12 測定頻度	6.12 測定頻度				6.8 測定間隔
6.11 電源継続時間	6.13 電源継続時間	6.13 電源継続時間	4.2.3 連続測定機能			6.9 電池
6.12 データ保存			4.5 測定結果の保存、印刷および送信			
6.13 装置の一般的機能						6.10 その他仕様
7 試験の計量特性	7 試験の計量特性	7 試験の計量特性	6.1 検査分類			7. 型式認定試験の申請において留意すべき計量特性
7.1 一般条件	7.1 一般条件	7.1 一般条件				7.1 一般条件
7.2 試験ガス特性	7.2 試験ガス特性	7.2 試験ガス特性				7.2 型式認定試験において使用するガスの特性
7.3 参照条件	7.3 参照条件	7.3 参照条件	5.1 標準試験条件			7.3 型式認定試験における定格
7.4 精度試験	7.4 精度試験	7.4 精度試験				7.4 精度試験
7.4.1 総則						7.4.1 総則
7.4.2 精度試験の実施			5.7 許容誤差試験		4.6.1 直線性(Linearity)	
7.4.3 繰返し性試験の実施			5.8 再現性試験		4.6.2 繰返し性(MPE and repeatability)	7.4.2 基本的な精度試験
7.4.4 ドリフト試験の実施			5.9 ドリフト試験			7.4.3 ドリフト試験の実施
7.5 記憶効果	7.5 記憶効果	7.5 記憶効果	5.10.1 メモリー効果試験			7.5 記憶効果
7.5.1 ヒステリシス			5.10.2 残留影響試験			7.5.1 ヒステリシス(高濃度暴露)
7.5.2 水蒸気の影響(結露)						7.5.2 水蒸気の影響(結露)
7.6 影響要因	7.6 影響要因	7.6 影響要因				7.6 呼気アルコール検知器の環境要因試験
7.6.1 総則						7.6.1 総則
7.6.2 動作温度			5.19.1 高温作動試験 5.19.3 低温作動試験			7.6.2 呼気アルコール検知器の温度試験
7.6.3 周囲相対湿度			5.20 耐湿性試験			
7.6.4 妨害物質					4.6.3 干渉ガスの影響	7.6.3 呼気アルコール検知器の干渉物質試験
7.6.5 影響要因呼吸パラメータ						7.6.4 呼気アルコール検知器における呼吸要因試験
			最小呼気量試験			7.6.4.1 最小体積の試験
						7.6.4.2 呼気中の体積及び時間の影響
7.6.6 電圧変動(内部電池)			5.3.1 電圧下限値警報機能試験			7.6.5 電圧変動
7.6.7 電源継続時間試験						7.6.6 電源継続時間試験
7.7 機械的妨害及び気候的妨害	7.7 機械的妨害及び気候的妨害	7.7 機械的妨害及び気候的妨害				7.7 機械的妨害及び気候的妨害
7.7.1 総則						7.7.1 総則
						7.7.2 自由落下
7.7.2 衝撃&振動			5.21 振動試験 5.22 衝突試験			
7.7.3 気候環境						7.7.3 気候環境
						7.7.3.1 低温
						7.7.3.2 乾熱
7.8 電気的妨害			5.4.1 電気性能安全要件			
7.8.1 総則						
7.8.2 静電放電			5.24 静電放電イミュニティ試験			
7.8.3 放射電磁界			5.25 放射無線周波電磁波イミュニティ試験			
						8 型式認定されたソフトウェアの妥当性確認
						8.1 一般
						8.2 セキュリティ
						8.2.1 アルコール検知器の精度パラメータへのアクセスレベル
						8.2.2 データの保護
						8.2.3 コンプライアンス
45 の項目	20の項目	20の項目	34項目	3項目	9項目	54項目